
令和5年度 第30回記念大会 静岡県図書館大会

<第5分科会 学校図書館>

「G I G Aスクール時代の学校図書館のアップデート」

講師 宮澤 優子氏

(長野県高森町立高森北小学校・高森町子ども読書支援センター 司書)

G I G Aスクール構想下における I C Tの活用によって学校図書館の機能も向上し、子どもたちの学びも変化します。長野県高森町で学校司書および子ども読書支援センター司書として、I C Tを活用した図書館サービスを進めている宮澤優子氏から、情報活用能力の育成、教材研究や公共図書館との連携など実践例を交えたお話を伺います。

期日 : 令和5年11月13日(月)

会場 : 静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ
9階会議室910

日程 :	13:45~13:50	開会
	13:50~15:30	講演
	15:30~15:40	質疑応答
	15:40~15:45	閉会

静岡県教育委員会
静岡県図書館協会
静岡県読書推進運動協議会



大会アンケート
(11月30日(木)までに御回答ください。)

～子どもの探究が確実に変わる～

GIGAスクール時代における 学校図書館のアップデート

2023.11.13

高森北小学校・高森町子ども読書支援センター
司書 宮澤優子

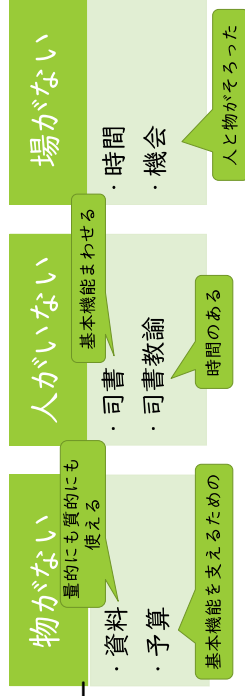
本日の課題設定

GIGAスクール時代の
学校図書館の
スタンダード
について考える

①学校図書館の現状の共有

「図書館」と言い切れる施設であるのか？という問い

学校図書館の抱える問題



高森町がすすめる 公共図書館と学校図書館の「連携」

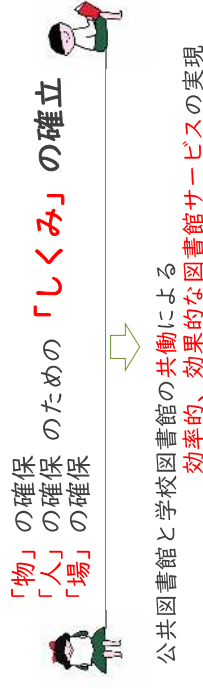
- ①町内の「図書館的資源」を最大限に活用する
そのために「お互い」のことを知り、補完しあう
そのための関係を築き、コミュニケーションをとる
- ②町内の「図書館的資源」を増加させる
そのために町のことを知る
そのために手段を探る
そのために「図書館のことを知ってもらう」

協働による課題解決

②高森町子ども読書支援センター が稼働しました

～学校図書館の課題解決のために～

高森町子ども読書支援センターとは



③学校図書館の再定義

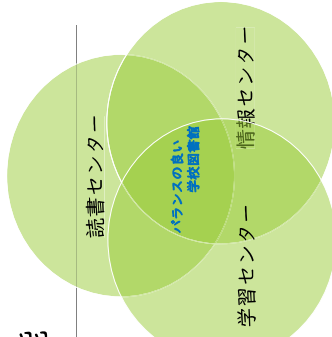
なにをスタンダードとするのか？

③ー1 学校図書館の機能

学校図書館の機能

学校図書館とは？

「小学校、中学校及び高等学校において、図書、視覚聴覚教育の資料その他の学校教育に必要な資料を収集し、整理し、及び保存し、これを児童又は生徒及び教員の利用に供することによって、学校の教育課程の展開に寄与するとともに、児童又は生徒の健全な教養を育成することを目的として設けられる学校の設備」
（学校図書館法第二条より抜粋）



教育課程の展開に寄与するために

教育活動

学校図書館機能

＝読書センター、学習センター、情報センター

公共図書館機能

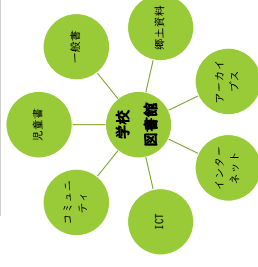
＝フルスベックの（児童サービスに限定しない）図書館サービス

③－３ 各機能とGIGAスクール読書センター編

～そもそもの読書センターの読書支援と、GIGAスクール

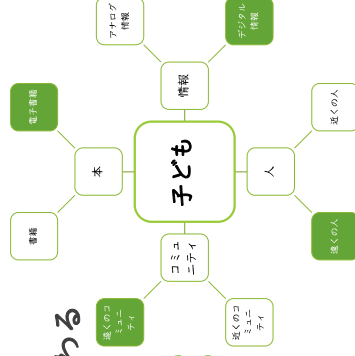
「本」にとらわれない学校図書館

～広い視野・幅広い知識・柔軟な思考～



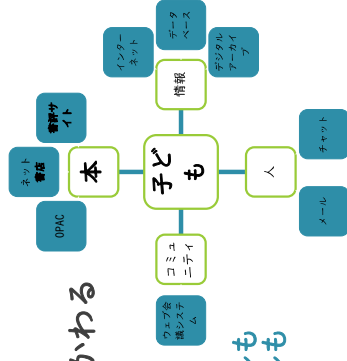
学校図書館とは
社会に存在する
「情報」や「技術」に
「いつでも」「自由」に
アクセスできる場所

GIGAスクールで 「つなぐもの」がかわる



アナログもデジタルも
リアルもバーチャルも

GIGAスクールで 「つなぎかた」がかわる



アナログもデジタルも
リアルもバーチャルも

高森町子ども読書支援センターの 「読書」の捉え



★＝テキストに向き合う段階でのスキル ●＝テキストとの接点に関するスキル

本を読み、豊かな心を育む 子どもたちをととはは？



段階をあげるための手立て

内発的エネルギー

外発的エネルギー

③ー4 学校司書による 読書案内と読書指導のヒント

GIGAスクール時代の読書センター

読書センターに必要な二つの観点

十分なスキル＝子どもたちに必要なもの

十分な環境＝学校図書館に必要なもの

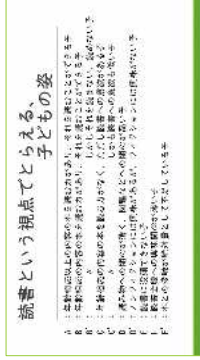
学習・情報センターにもこの二つの観点が必要

読書センターとしての読書支援

読書「案内」

読書「指導」

子どもたちの実態に合わせて
日々試行錯誤をオーダーメイド



おおまかなカテゴリーでしかない

読書に必要なスキルの
ピックアップと指導



「高森ほんともWeb-Library」2020年6月2日稼働（2023年3月末をもってデジとしよ信州へ移行）



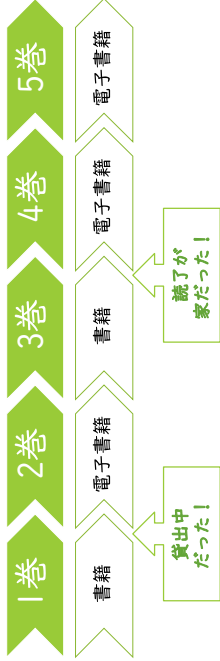
「デジとしよ信州」2022年8月5日稼働



集団登録＋ワークショップ＝日常化



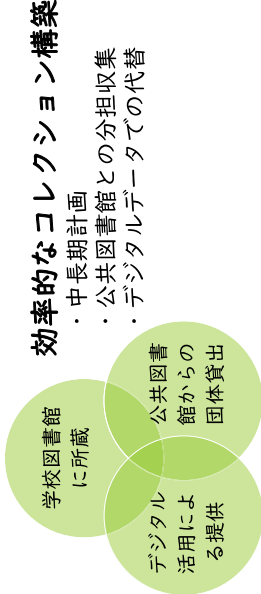
電子書籍図書館の活用による 読書の中断・分断の回避



迅速で確実な内容で十分な分量の 資料・情報を提供するために

必要な資料・情報の「情報」を
授業者と図書館（公共図書館も・学校図書館も）で
共有することが重要

提供資料（もしくは情報）のレベルと コレクション



アップデートのための視点 読書センター編

- ★読書案内を欲しているのか？
- 読書指導を希望しているのか？
- 的確に、伝えるor促える
- ★GIGAスクールが、子どもたちの読書の手段と
本との出会いの選択肢を増やすのだという意識

情報共有の手順

- ・全学年、全教科の調べ学習単元および資料提供可能単元のピックアップ
（何年生いつ頃のどの教科のどの単元？）
- ・教科書と指導書から、指導内容の調査
（どういう情報を抜き出す活動なのか？）
- ・指導内容に合わせた「提供資料に含まれるべき情報」の共有
（何が書かれていないといけないのか？）
- ・必要資料の所蔵状況、出版状況の共有
（何を提供できるか？）

提供資料（もしくは情報）のレベルと コレクション

- 上級** どんな形態でも情報を抜き出せる層
・もはや一般書のほうが、無駄に情報に制限をかけずに提供できることもある
- 中級** ある程度学習に沿った構成であれば、情報を抜き出せる層
・教科書や支持そのまのキーワードやレイアウトがなくても、調査そのものに大きなストレスがないいくつかの学習資料
- 初級** 教科書や指示とほぼ同じ体裁でなければ情報を抜き出すのが難しい層
・キーワードやレイアウトが教科書や支持から大きく逸脱しておらず、ストレスなく活動ができる学習資料

学習のための本（＝資料）の提供の変化



- 自分ですべて
- 団体貸出による
スムーズな学習資料の提供
- ・南信州図書館ネットワーク
- ・新規購入
- ・一般書、専門書の提供
- ・有効なサイトからの情報提供
- ・データベースの活用

GIGAスクール時代の学習センター

アップデートのための 学習センター編

- ★必要な情報や資料の「情報」を的確に「伝える」or「捉える」
- ★紙の資料とデジタル資料、提供できるものをすべて提供する姿勢
- ★紙の情報とデジタルの情報それぞれのメリットをきちんと活かすための活用の提案を図書館から

情報活用能力年間指導計画

学年	1	2	3	4	5	6
情報活用能力	① 必要な情報や資料の「情報」を的確に「伝える」or「捉える」	② 紙の資料とデジタル資料、提供できるものをすべて提供する姿勢	③ 紙の情報とデジタルの情報それぞれのメリットをきちんと活かすための活用の提案を図書館から	④ 必要な情報や資料の「情報」を的確に「伝える」or「捉える」	⑤ 紙の資料とデジタル資料、提供できるものをすべて提供する姿勢	⑥ 紙の情報とデジタルの情報それぞれのメリットをきちんと活かすための活用の提案を図書館から

指導用教材データセット

③ 必要な情報や資料の「情報」を的確に「伝える」or「捉える」	④ 必要な情報や資料の「情報」を的確に「伝える」or「捉える」	⑤ 紙の資料とデジタル資料、提供できるものをすべて提供する姿勢	⑥ 紙の情報とデジタルの情報それぞれのメリットをきちんと活かすための活用の提案を図書館から
① 必要な情報や資料の「情報」を的確に「伝える」or「捉える」	② 紙の資料とデジタル資料、提供できるものをすべて提供する姿勢	③ 紙の情報とデジタルの情報それぞれのメリットをきちんと活かすための活用の提案を図書館から	④ 必要な情報や資料の「情報」を的確に「伝える」or「捉える」

教材へリンク

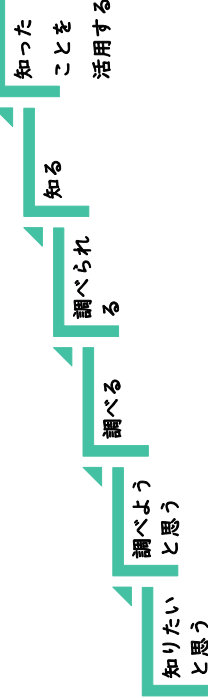
今の環境では使えなくても
その存在を「見せておく」

- ・オンライン書店のレコメンド機能
- ・各種SNSでの情報収集事例
- ・チャットボット
- ・AI
- ・動画配信サイトからの情報収集

③-6 各機能とGIGAスクール 情報センター編

～GIGAスクールによる各機能のレベルアップ～

知りたいことを調べ、知る
子どもたちとは？



情報活用能力指導年間計画と 指導用教材のデータセット+α

情報活用能力年間指導計画

学年	1	2	3	4	5	6
情報活用能力	① 必要な情報や資料の「情報」を的確に「伝える」or「捉える」	② 紙の資料とデジタル資料、提供できるものをすべて提供する姿勢	③ 紙の情報とデジタルの情報それぞれのメリットをきちんと活かすための活用の提案を図書館から	④ 必要な情報や資料の「情報」を的確に「伝える」or「捉える」	⑤ 紙の資料とデジタル資料、提供できるものをすべて提供する姿勢	⑥ 紙の情報とデジタルの情報それぞれのメリットをきちんと活かすための活用の提案を図書館から

指導用教材データセット

③ 必要な情報や資料の「情報」を的確に「伝える」or「捉える」	④ 必要な情報や資料の「情報」を的確に「伝える」or「捉える」	⑤ 紙の資料とデジタル資料、提供できるものをすべて提供する姿勢	⑥ 紙の情報とデジタルの情報それぞれのメリットをきちんと活かすための活用の提案を図書館から
① 必要な情報や資料の「情報」を的確に「伝える」or「捉える」	② 紙の資料とデジタル資料、提供できるものをすべて提供する姿勢	③ 紙の情報とデジタルの情報それぞれのメリットをきちんと活かすための活用の提案を図書館から	④ 必要な情報や資料の「情報」を的確に「伝える」or「捉える」

教材へリンク

端末操作
タイピング

デジタルシテイズ
ンシップ教育

インターネット
での情報検索スキル

③-7 GIGAスクール時代の 学校図書館の課題

～やること山盛り、できることも山盛り～

アップデートのための視点 情報センター編

- ★その学習、活動に必要な情報活用能力を見極め、どこ（誰）が、いつ、どう授けるか考え実行する
- ★GIGAスクール時代の情報活用能力を、早急に洗い出し、着実に上乗せする
- ★学校の中では見えにくい様々なものを、（今は使えずとも）広く見せておく

授業に準拠したデジタル資料の必要性

有料データベース

- ・新聞データベース
- ・有料ツール
- ・Sagasokka! (オンライン百科事典)

無料データベース

- ・CiNii
- ・J-STAGE
- ・NDLサーチ
- ・全国遺跡報告総覧
- ・ジャパンサーチ
- ・e国宝
- ・CoI Base

無料ツール

- ・Googleブックス
- ・Google Scholar

電子書籍図書館

- ・自治体運営
- ・学校契約

変化する「必要なスキル」こども編

デジタルティーンズシップ教育

- ・著作権・肖像権等の知財等に関する法教育
- ・ファクトチェックのスキルや
- ・フィルターバブルへの対処としての批判的思考 (クリティカルシンキング) など

これまでのスキルに**上乗せ**が必要

変化する「必要なスキル」大人編

- ・ICTスキル
- ・ICTを活用した学びのデザイン
- ・抑制型→活用型への転換のための方法論
- ・著作権、肖像権等の知識
- ・子どもたちが必要とするスキルを授けるためのスキルなど

これまでのスキルに**上乗せ**が必要

④新・学校図書館考

～子どもたちの一番身近な図書館として～

図書館は、なにをすることで？



学校図書館的

「教科等横断的な視点」

- ・教科にとらわれない多様な学びのための情報 (コンテンツ) の提供、展開
- ・学びの情報と生活の情報を媒介させるための能力 (スキル・コンピテンシー) の育成

子どもたちの**10年後、20年後**を見据えて

私が大事にしていること

ぶれない「軸」を持つ

- ・子どもたちの学びが常に「軸足」
どんなに揺れ幅が大きくなっても軸がぶれなければ必ず円が描ける
- ・子どもたちにとって

唯一自力で使える図書館

学校図書館が、彼らにとっての「図書館」のスタンダード

学校図書館の担い手として

全・児童生徒が**自力**で使える

図書館として

「図書館」たり得るために、

「図書館」とは？

